

平成28年度 第2回 学校協議会 【議事録】

平成28年11月28日

13:20～14:50

[場 所]: 茨木支援学校 校長室

[出席者]: 校長 准校長 教頭(2名) 事務長 首席(4名) 部主事(3名) 指導教諭
協議会委員(5名 [欠席: 1名])

はじめに

校長・准校長、あいさつ

① 会長挨拶

感染症が流行する季節となった。支援学校に児童生徒には感染症は大敵である。先生方は十分気をつけていただきたい。

今回は2回目ということで、進捗の状況を学校から説明いただくことになっている。忌憚のないご意見をいただきたい。

② 報告及び協議 (※●は協議会委員からの意見、提言等 Qは質問 Aは学校の回答)

<協議会意見書箱について>

- ・意見箱への投書はなかった。

<授業アンケートについて>

[教頭より]

- ・概要の説明
- ・今年度は参観の日数を増やした。今後も回収率を高くする工夫を検討していく。
- ・評価結果が低い授業に関しては、管理職から指導を進めている。
- ・今年度から自由記述の欄を設け、様々なご意見を保護者からいただいた。
- ・2学期の授業参観が既にスタートしている。

Q. 生徒の呼名について保護者から意見があるが、本校ではどのようにしているのか。

A. 幼少期のあだ名や名前のみで呼んでいる場合がしばしばある。

●徹底できていないのであれば変えていく必要があると思う。

[教頭より]

- ・自由記述の内容は、職員会議で教職員に知らせている。

Q. 生徒アンケートについて、生徒は正直な気持ちを意見として出すと思う。

実際に対象の生徒は何名で、どのような問い方をしているのか。

A. 高等部は全生徒が対象。中学部は問いを理解することができる生徒10名程度を対象にしている。実際の回収率は例年低い。

[委員より]

- 保護者の自由記述は、教員とは違った見方が多く出てくる。出てきた意見を、小・中・高の学部ごとにまとめてみると、それぞれの課題が見えてくるのではないか。今後の焦点が定まってくるのではないかと思う。
- 生徒アンケートについては、子ども自身が理解が難しい場合は、提出されないと思う。保護者のアンケートは、一人でたくさん出される方もおられるので、実際の回収率や参観人数はもっと少ないのではないか。アンケートの回収数や参観される保護者の人数がもっと多くなるように、連絡帳で知らせるなどアナウンス・お知らせの仕方を工夫してほしい。
- 今実施されている授業参観の結果は、第3回の学校協議会で報告があるかと思うので、そこでまた委員の方からご意見をいただきたい。

<平成28年度 学校経営計画進捗状況について>

[学校長より]

- ・今年度の中期目標を中心に各項目について説明。

[准校長より]

- ・就労について、現状で1名の内定をいただいている。
- ・今後も実習が実施される予定である。

Q. 企業での実習について、機会は増えているのか。また企業の数も増えているか。

A. 昨年と比較して実習に行く企業の数は増えている。本校が独自でお願いしている企業も増えているが、府への企業の登録数も増えている。

- 進捗状況について説明いただいた。それぞれの項目について進んでいると思うが、その中でも、今まで学校の課題としてきた項目で、今年度特に進んだ項目、また今年からの課題はどうだったのかなど、分けて示すと今後の課題もわかりやすくなるのではないか。

Q. 課題の中で、改めて教職員に進めていってほしいという項目は何か。

A. *ボッチャについて、今年度、全国の大会に参加することができた。大会に参加することで、たくさんの課題も改めて見えてきた。今後活かしたい。

*年々、若い教職員、経験年数の少ない教職員の割合が増えている。それぞれの年数に合った研修の機会を上手く設定していくということが大事である。

*業務の見える化について、分掌組織を学校運営関係・児童生徒の活動関係・研究支援関係の3つの部門に分け、それぞれの部門で検討や議論を進めることができるようにした。

*コンクールやコンテストへの応募を今後も増やして、子どもたちのチャンスを増やしていきたい。

*安心安全な学校づくりについて、継続してより進めていかなければいけない。

*こさえたんマルシェという、野外での喫茶サービスの機会があった。今後もそういった機会を増やしていきたい。

<学校教育自己診断について>

[首席より]

- ・学校経営計画の内容についての項目も設定して、経営計画の内容とも関連付けて行なっている。
 - ・アンケート結果について、特に否定回答の比率が高い項目を課題として、今後分析を進めていく。
- アンケートについての保護者の結果と教職員の結果があるが、教職員の否定比率が高いものが保護者でも否定比率が高いように思う。

[学校長]

- ・個別の教育支援計画についての項目で、保護者の否定比率が高い。個別の指導計画は十分に指導に活かされているが、個別の教育支援計画については活用が少ないのではないかとと思われる。個別の教育支援計画の活用について今後も進めていきたい。
- アンケートの結果が出ているが、なぜその結果なのか原因を分析していく必要がある。原因を分析することで、課題を打開していく方策を考えていくことが大事。次回にまた報告をお願いしたい。
- 経験年数が5年未満の教職員が多いとなっているが、研修についての項目で、研修が充実しているという実感がされていないことが分かる。より良い研修や改善をしていかないといけないのではないかと。今後も若い教員が増えていくことになると、保護者も不安になるのではないかと。

[学校長]

- ・経験年数が少ない教職員が毎年増えている。今後も増えていくことが考えられる。初歩的な内容から高いレベルの内容まで、経験レベルごとの研修を行なっていくことが今後の課題である。
- 保護者にとって、自分の担任が、経験年数が少ない・ゼロでは困る。そういう状況であっても保護者には通らない。

[学校長]

- ・クラス担任については、経験のある教員を配置することになっている。初任者や講師など経験の浅い教員はサブに入る体制を組むようにしている。
 - ・年度初めから良いスタートを切ることができるよう研修等も含めて学校として努めていきたい。
- トイレ介助など最低限のことはしっかり行なってほしい。最低限の介助はできるよう、年度初めまでに研修を終えてスタートしてほしい。

③ 諸連絡

第3回学校協議会の日程調整の予定について

以上